

令和6年度埼玉県バーチャルユースセンター運營業務委託企画提案 評価項目

区分	審査項目	配点
事業目的、 事業内容	①事業目的の理解度 □メタバースを活用し、小学生から大学生程度までの子ども、若者が安心して気軽に参加でき、交流、体験、相談等の機能を備えた居場所として設置するという目的について十分に理解しているか。 □子ども・若者の意見反映やユースワークの考え方を理解しているか。	15
	②交流・体験事業の内容 □提案書の構成に工夫があり、実施方針が明確に示され、全体として意欲が感じられるか。 □企画の独自性、事業実施上の専門性があるか。	15
	③相談(メタバース空間を使用しない相談を含む)の内容 □提案されている実施方法が現実的であり、十分に実施可能なものであるか。 □企画の独自性、事業実施上の専門性があるか。	15
	④リアルの体験・交流、支援機関や市町村等の外部との連携 □企画の独自性、事業実施上の専門性があるか。	5
	⑤効果的な募集・広報 □SNSや有料広告等を利用した効果的な広報方法の提案があるか。	5
業務の 実施体制・ 実施計画	①実施体制 □業務が円滑に進むよう必要十分な担当者を配置しているか。 □ユースワークを行うための知識・経験を有するスタッフを配置しているか。 □相談対応に係る資格・知識を有する等の専門スタッフの配置しているか。	15
	②スケジュールの妥当性 □事業目的達成に向けた計画となっており、そのスケジュールは現実的で妥当か。	10
	③危機管理体制 □危機に備えて適切な管理・運営体制を構築しているか。 □個人情報適切に管理されているか。	5
受注実績等	①業務の受注実績及び費用 □行政機関から同種・類似業務の委託を受けた実績があるか。 □事業を実施するために必要な財務的基礎を有しているか。 □事業に必要な経費の見積にあたって、妥当な積算方法で費用対効果に優れているか。	10
追加提案	①追加提案 □追加提案は本事業を実施する上で効果的な内容か。	5